

子どもの貧困研究のフロンティア

定例学術研究会

<第46回>



健康な子どもが通うところと言われてきた保育所ですが、近年は様々な背景をもつ子どもたちの育ちの場となっています。日中の服薬が必要な場合、保育士などの職員が薬を飲ませてくれること（与薬）がありますが、与薬を引き受ける保育施設では、保育士が与薬業務による負担や困難感を抱えている場合があることも指摘されています。

今回は、保護者、保育施設等を対象とした複数のアンケート調査から明らかになった保育所内与薬の実態と薬に関わる課題について、東京都立大学特任准教授の柳奈津代先生よりご報告いただきます。薬剤師による支援のほか、今後は医師や行政なども含めた多職種による支援・連携、保護者による協力も期待されています。子どもの安全な与薬環境、安心な保育環境のためにできる支援の在り方について、皆様と議論できますと幸いです。

日時：2024年11月27日(水) 18:00-20:00

報告：保育所における与薬の実態と薬に関わる課題

～薬局薬剤師による支援から多職種による支援・連携の可能性へ～

報告者：柳 奈津代 先生

(東京都立大学 人文社会学部人間社会学科 社会福祉学教室 特任准教授)

ハイブリット開催：ZOOM

対面：東京都立大学オープンユニバーシティ飯田橋キャンパス

(東京都千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館 3階 35教室)

(人数を制限して対面での参加も可能としました)



ZOOM 申込

<https://zoom.us/meeting/register/tJYrf-2sqzooHNGHM5F5l2gJbzdWiMj3qw11>



対面申込

<https://forms.gle/nFLNahPDpJ1pmjim8>

お問い合わせ

東京都立大学子ども・若者
貧困研究センター

E-mail: rccap@tmu.ac.jp

(担当者 三浦・松原)